

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【公開番号】特開2006-217948(P2006-217948A)
【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)
【年通号数】公開・登録公報2006-033
【出願番号】特願2005-31575(P2005-31575)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月22日(2009.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発射手段により打ち込まれる遊技球が転動可能な遊技領域を有する遊技盤を備えた遊技機において、

前記遊技盤は、

正面視した状態で貫通孔が設けられた遊技盤本体と、

前記遊技盤本体の前面側で前記貫通孔の開口を塞ぐ箇所になくとも設けられる、絵柄が描かれた部材または着色された部材である絵柄部材と、

を備え、

前記絵柄部材は、当該絵柄部材の前記貫通孔の開口を塞ぐ箇所である被照射箇所を少なくとも透光性としたものであり、

前記遊技盤の遊技領域面の裏面側に備えられた、前記絵柄部材の被照射箇所に向けて光を発する発光手段と、

前記発光手段から発せられた光を拡散させて前記絵柄部材の被照射箇所に出射する拡散手段と、

を備えている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技機において、

前記拡散手段は、光が入力される入光面と光が出力される出光面とを有する光透過体を備え、

前記光透過体の出光面は凹凸状であることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技機において、

前記発光手段は、

光を発する発光素子と、

前記発光素子が電氣的に接続された発光素子基板とを、

備え、

前記拡散手段は、その入光面側に前記発光素子を収納する発光素子収納部を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 のいずれか一つに記載の遊技機において、
前記遊技盤の遊技領域面の反対面側に、前記発光手段を取付ける取付手段を備え、
前記発光手段は、
光を発する発光素子と、
前記発光素子が電氣的に接続された発光素子基板とを、
備え、
前記取付手段は、前記発光素子が挿入配置される発光素子孔を備え、
前記発光素子孔は、その内周面を光反射面とし、この反射面で反射された光が前記貫通
孔に向かうように配設されている
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の遊技機において、
前記遊技盤に打ち込まれた遊技球を集めて排出する集合部材を備え、
前記集合部材は、前記取付手段を収納する窪み部を備え、
前記集合部材は、前記取付手段の発光素子孔と前記貫通孔との位置が合うように、前記
遊技盤本体の遊技領域面の反対面側に固定されている
ことを特徴とする遊技機。